

市政を問う

一般質問



竹中 理議員
(公明党豊岡市議員)

敬老会の補助金廃止

問 30年度から廃止予定だが、地区運営される方は突然でびっくりすると思う。するとしても段階的な緩やかな移行で市民への配慮を検討してはどうか

答 敬老会だけを廃止する検討ではない。コミュニティ単位で実施など検討の一つに挙げてきた。限られた財源を有効に使うため検討に入ったが、まだ財源を何に使うかも、決めているわけではない。

治水について

問 梶原区の水路だが、土の部分が崩れており、前回の答弁で地元と連携を取るとのことだったが現時点の取組み状況は

答 地元区長から経緯の聞き取り、登記、字限図等による地権者等の特定、所在の確認をし、今後は

市民ファーストを当たり前に！

資料等の整理を行い、地権者に事業を説明し、協力を得る調整を図りたい。

スマートフォンの使った地域課題解決

問 道路の陥没などを解決するために、アプリで写真を撮り自動的に地図情報と一緒に行政に知らせる仕組みの提案だが、3か月の実証実験をしてはどうか。またアプリ開発者からの説明の印象は

答 3か月程度の実証実験を行いたい。ネット上で位置情報が入るので便利という印象だ。2月1日から郵便局と情報提供の協定を締結して運用しており、その

決算状況の見える化

問 決算情報の更なる見える化の市としてのスケジュールは

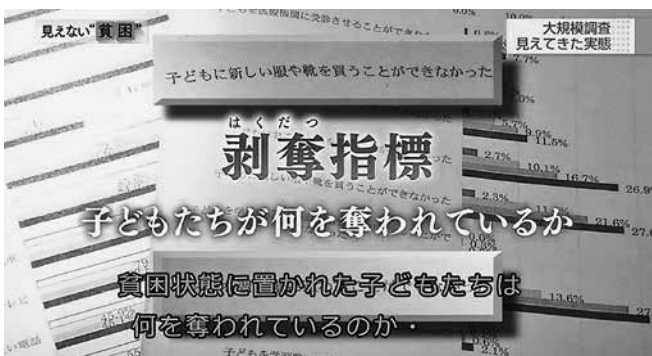
答 仕訳方法は期末一括仕訳を選択した。29年度末までに28年度決算の財務書類を公表できるように取り組んでいる。



活用すれば便利になります

問 内閣府の子ども未来応援交付金を活用し多くの自治体の実態調査を行っている。剥脱指標など子どもの成長に必要な可欠な経験を奪う実態の調査に取り組むべきだ。それに即してどう手を打つか計画作りが必要だが

答 調査研究しながら、検討していきたい。新しいコミュニケーションについて仄聞すると、会長報酬が百万円の設定や1万円の設定もある。組織の中で



伊賀 央議員
(みらい)

本市の「子どもの貧困」の実態を探るべきだ

問 新年度子どもの貧困という命題に所見が見えない。取組み状況を伺う

答 市の取組みは、生活困窮世帯に教育、福祉、就労等の既存施策を活用し個別の家庭状況に寄り添い支援している。関係機関と子どもの個別課題を収集、分析検討し家庭の健全育成と貧困の連鎖防止に努めたい。

問 夜遅くまで明かりが灯る職員室を見ると、子どもが安心して居場所作り

答 子どもの時間を変えているようだ。子どもたちと触れ合う時間を作るため社会全体としてどう取り組むべきか

市政を問う



伊藤 仁議員
(とよおか市民クラブ)

豊岡1925は賑わいと 交流の拠点を目指せ！



回遊拠点施設としての機能強化が望まれる豊岡1925

の時期で辛抱する時期だと考えている。

ファミリーサポートセンター事業について

「まかせて会員」は、しっかり面接を行い、一定の基準が必要ではないか

選考基準はないが、保育に関する知識、技能に関する講習会を受講した上で、会員として登録する。

あつてはならない事故が起きた場合の責任問題についての考えは

活動中に生じる事故は当事者である会員相互間で解決することになり、損害賠償に備えるため保険に加入する。

預け先がうまくいっている事を確認する必要があると思うかが

異常を感じたときは事務局が窓口として調整をしていく必要がある。



奥村 忠俊議員
(日本共産党・おおぞら豊岡市議員団)

危険な空家撤去など対策 を急げ！

空家等対策協議会条

務だ。

例が提案されているが、空家等とは何を指すのか。また、行政は空家の撤去まで関わるのか

今にも潰れそうな状態であっても手を付けることはできないのか

法的には所有者に責任がある。行政も放置した状態なら責任も出てくる。危険を知らながら通行すると過失相殺が起きると思う。

建物、工作物、木立など。「空家対策計画」を策定し、所有者の適切な管理の促進、特定空家の処置等定めるが、直接的な措置権限はない。撤去は所有者、管理者の責

作っており、協議会と共同に策を進める。

国の「空家対策総合支援事業」という空家の活用制度がある。高知県の四十町町の例では、空家を借り上げ、耐震、断熱、トイレ水洗化、リフォームを施し、移住定住希望者に貸出する。町が管理し、固定資産税と同額の借上げ料を払う。

人が出るなど事故があつたらどうなるのか

その場合の責任所在は今後の検討になる。

これは45件、意向調査中だ。議員が言われた再利用の国の施策も検討する。

お菓子を中心として、たまちづくりに実現に向けてしっかりと事業を進め、議会報告を求める

指定管理者には、早急な打開策を検討し、改善を申し込んでいる。取組み状況は建設経済委員会で定期的に報告していく。

26年度、27年度と赤字を出し、28年度の来店者数も27年度比で半減しており最悪の事態だ。指定管理者ノオトの改善に向けた取組みはどうか

披露宴等をされている。収支についてはまだ厳しい状況である。

そのようなものを含めて検討したい。

赤字経営で交流の拠点となっていない状況では、契約違反ではないのか